

つけていますか？ 住宅用火災警報器

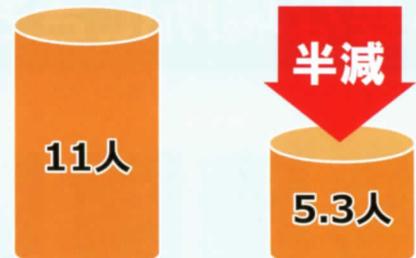
住宅用火災警報器で助かる命があります！

火災による死者（令和元年）



設置の効果

<住宅火災100件当たりの死者数>



(総務省消防庁資料から)

令和元年に全国で約37,600件の火災が発生し、死者は1,486人に上っています。火災による死者の約7割は「住宅火災」。人口の高齢化に伴い、死者に占める高齢者の割合が年々高くなっています。

住宅用火災警報器は、煙を感知し、音や音声により火災の発生を知らせてくれるの、いち早く避難でき、早期の消防署への通報が可能となります。

住宅用火災警報器を設置していると、設置していない場合に比べて「死者数と焼損床面積は半減、損害額は約4割減」と言われ、私たちの命と財産を守ってくれます。

あなたの住宅にも火災警報器の取り付けが義務付けられています

住宅用火災警報器の設置率（令和2年7月）

全国 82.6%

長野県 80.7%

長野市 81.8%

ご家族の命を守るために
住宅用火災警報器を設置しましょう!!

設置済みの皆さんへ

必要な場所につけていますか？

住宅用火災警報器は「寝室」と「寝室がある階の階段上部（寝室が2階以上にある場合）」に設置する必要があります。

このほか、市町村の火災予防条例により、台所やその他の居室にも設置が必要な地域があります。詳しくはお住いの地域の消防本部・消防署へお尋ねください。

市町村条例で設置義務がある場所すべてに
設置している世帯は6割程度です。

住宅用火災警報器の条例適合率（令和2年7月）

全国 68.3% 長野県 64.8% 長野市 60.6%



万が一のときに備え、
必要な場所にきちんと設置しましょう!!

作動確認していますか？



（音はメーカーにより異なります）

ボタンを押す、又はひもを引いて警報器の音を聞いて作動することを確認しましょう。

音が鳴らない場合は、電池がきちんとセットされているか、確認してください。それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「本体の故障」です。速やかに電池交換や本体の交換をしましょう。

住宅用火災警報器 交換のおすすめ

10年たつたら、
とりカエル。



住宅用火災警報器は、10年を目安に交換をおすすめします。本体内部の電子部品の劣化等により火災を感じなくなることが考えられるためです。

いざというときのため、
定期的な作動確認をしましょう!!

長野県・長野県消防長会・(一社)長野県消防設備協会

お問い合わせは 長野市消防局 予防課 または 各消防署 まで

- ・消防局予防課 026(227)8001
- ・中央消防署 026(237)0119
- ・松代消防署 026(278)2992
- ・鶴賀消防署 026(223)0119
- ・鳥居川消防署 026(253)5119
- ・篠ノ井消防署 026(292)0119
- ・新町消防署 026(262)5119